

# 取扱説明書

## 一般自転車共通説明書

自転車を安全で快適にご使用いただくため必ずお読みください。



お買い上げありがとうございます。お求めいただきました自転車の性能を十分に引き出しつつまでも安全にお乗りいただくために、自転車の正しいご理解とご使用が必要です。ご使用を誤りますと大きな事故につながりかねませんので、お乗りになる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき正しいご理解とご使用をお願いいたします。

お求めいただきました自転車は当社の厳重な品質管理の下に生産されています。しかし輸送中の振動等で製品に緩み等が生じる恐れがあります。販売店で自転車をお受取りになるときに点検済か確認してください。同時に取扱説明書・保証書をお受取りになり、大切に保管してください。販売店名の記入、捺印されたもののみ有効となりますのでご注意ください。

お子様や高齢者の方のご使用につきましては、保護者の方が必ずお読みいただきご指導ください。在日外国人の方はこの取扱説明書を翻訳できる方から説明を受けてください。

FOR YOUR SAFETY AND COMFORT, IF YOU ARE ALIEN WHO LIVE IN JAPAN, PLEASE ASK SOMEONE WHO UNDERSTAND THIS MANUAL TO MAKE DETAILED EXPLANATION FOR YOU.

# 必読！！組立前のご確認

- 自転車は組立品につき、**未完成の状態でのお届けとなります。**（90%以上組立済）取扱説明書をよくお読みの上、手順にしたがって組立てください。
- ブレーキや変速機につきましては輸送中や組立時に調整がずれる時があり、**完全な調整が出来ていない場合がございます。**調整が必要な場合は、お客様に調整をお願いしておりますが、難しい場合はお近くの自転車販売店にご依頼（有償）ください。
- タイヤの空気は少なめになっている場合があります。空気が少ない状態でのご使用はパンクやチューブ破損の原因になりますので必ずエアチェックを行ってください。  
また、**パンクにつきましては初期不良以外は保証対象外となります。**
- ペダルは左右でネジ山の向きが異なりますので左右を間違えないでください。
- 組立に関する工具は付属しておりますが、調整に必要な工具は付属しておりません。恐れいりますがお客様の方でご用意頂きますようお願い致します。
- 自転車の**推奨適応体重は75kg以下**（子供車は50kg以下）となっております。適応体重を超えられる方がご使用された場合は保証対象外とさせていただきます。
- 万が一、不具合があった場合、ご使用後の商品につきましては交換対応いたし兼ねますので、必ず乗車前点検を行ってください。  
また、**事前連絡なしでお客様の方で修理されたものに関しましては一切の保証をいたし兼ねます。**
- 初期不具合の対応時にダンボールに戻していただく場合がございますので点検が完了するまで捨てないでください。
- 運送破損、初期不良は到着後、**1週間以内**にご連絡ください。
- 修理でお預かりする場合の代車はご用意しておりません。



## アフターサービスに関するお問い合わせ

■(株)マイパラス サービス窓口 | TEL:025-383-0107 FAX:025-383-0108  
(月～金曜日/9:00～17:00 土日祭日を除く) | E-mail : mypallas@titan.ocn.ne.jp

**警告表示について** 警告表示は危険の程度に応じて次の区分で表示していますので特に注意してください。



**警告**

取扱いを誤った時に使用者が、死亡もしくは骨折などの重傷を負う可能性が想定されるもの。



**注意**

取扱いを誤った時に使用者が、傷害を負う危険が想定される時及び、物的傷害のみの発生が想定されるもの。



**禁止**


危険の程度とは関係なく、道路交通法で禁止されている行為(荷台等に二人乗りなどをしない等)又は、当自転車のしてはいけない行為。



**強制**

使用者に必ず実行していただきたいこと。

# 目次 contents

●自転車の各部の名称・組立手順…………… P 2	●組立 各部の再確認…………… P 9
●組立 フレームの固定 (折畳自転車)…………… P 3	●こんなときは…………… P 10
●組立 ハンドルの固定・取り付け…………… P 4 <sup>1</sup> / <sub>2</sub>	●調整 ブレーキの調整方法  …… P 11~12
●組立 テレイラーガード取り付け・BMXの組立 P 5	●調整 変速機の調整方法…………… P 13~14
●組立 サドルの調整と固定…………… P 6	●一般総合説明書…………… P 15~34
●組立 ペダルの取り付け…………… P 7	●点検・整備チェックリスト…………… P 35
●組立 カゴの取り付け…………… P 8 <sup>1</sup> / <sub>3</sub>	●品質保証規定…………… P 36
●組立 付属部品の取り付け(オプション付車)… P 8	●防犯登録について…………… P 37



## ●自転車の各部の名称・組立手順

ご購入いただきました機種により、残りの組立部分と組立手順のご確認をお願いいたします。  
 ※下記の手順は機種ごとの参考例になりますので機種により異なる場合がございます。

※図面で説明する自転車は各車種の一般的な仕様です。



組立て作業の際は危険防止の為、手袋等をご用意ください。

### 折畳自転車

- フレームの固定  
〈取扱説明書3P〉
- ▶
- ハンドルの取付  
〈取扱説明書4-1P〉
- ▶
- サドルの調整  
〈取扱説明書6P〉
- ▶
- ペダルの取付  
〈取扱説明書7P〉

### シティサイクル

- ハンドルの取付  
〈取扱説明書4-1P〉
- ▶
- サドルの調整  
〈取扱説明書6P〉
- ▶
- ペダルの取付  
〈取扱説明書7P〉
- ▶
- カゴの取付  
〈取扱説明書8-1P〉

### クロスバイク

※一部機種除く

- ハンドルの取付  
〈取扱説明書4-2P〉
- ▶
- サドルの調整  
〈取扱説明書6P〉
- ▶
- ペダルの取付  
〈取扱説明書7P〉
- ▶
- デリレイラーガード取付  
〈取扱説明書5P〉

### ATB・MTB

- ハンドルの取付  
〈取扱説明書4-1P〉
- ▶
- サドルの調整  
〈取扱説明書6P〉
- ▶
- ペダルの取付  
〈取扱説明書7P〉
- ▶
- デリレイラーガード取付  
〈取扱説明書5P〉

### BMX

- ハンドルの取付  
〈取扱説明書5P〉
- ▶
- サドルの調整  
〈取扱説明書5P〉
- ▶
- ペダルの取付  
〈取扱説明書5P〉
- ▶
- ペグの取付  
〈取扱説明書5P〉

### 子供車

- ハンドルの取付  
〈取扱説明書4-1P〉
- ▶
- サドルの調整  
〈取扱説明書6P〉
- ▶
- ペダルの取付  
〈取扱説明書7P〉
- ▶
- カゴの取付  
〈取扱説明書8-3P〉

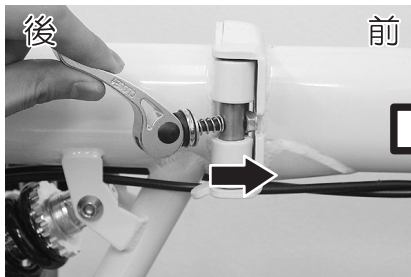
※組立完了後は各部の固定確認、ブレーキ、変速機等の調整確認をしてください。



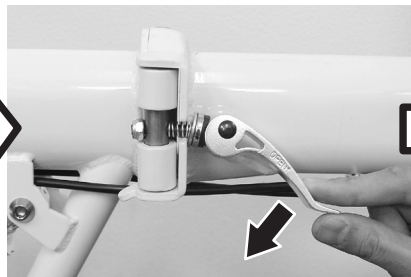
## ● フレームの固定 折畳自転車

フレームを開き、クイックレバーでフレームを固定してください。

### 下方向ロックタイプ



クイックレバーを向かって右側に回転させます。



クイックレバーを下に向けてしっかり倒してください。



固定完了です。

### 横方向ロックタイプ

※該当機種/M-240、M-246、SC-07、SC-08等



クイックレバーを向かって右側に回転させます。



クイックレバーを横に向けてしっかり倒してください。



固定完了です。

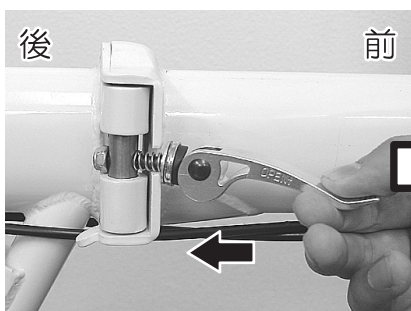
### フレーム固定Q&A

フレームの固定が緩い場合もしくは固い場合は・・・

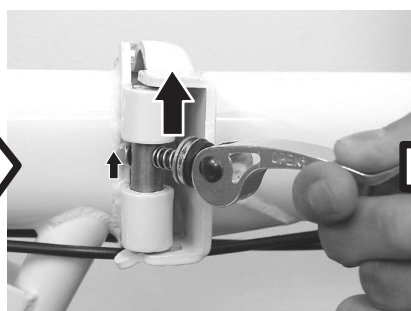


クイックレバーの反対側①のナットを回すと固定の強さの調節ができます。

折り畳む場合は逆の手順で行って下さい。 ※下方向ロックタイプの場合



クイックレバー起して左側に回転させます。



クイックレバーを付け根から上に持ち上げロックを解除します。



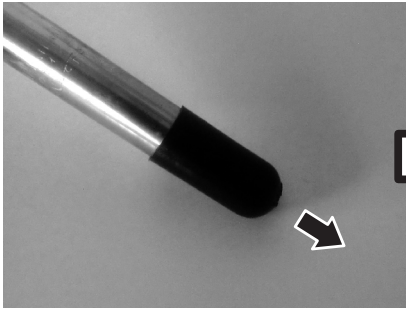
フレームを折り畳みます。



# ●ハンドルの固定・取り付け

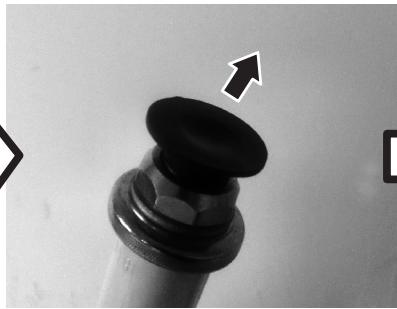
各タイプにより下記のように組立ててください。

## 差込ハンドルタイプ

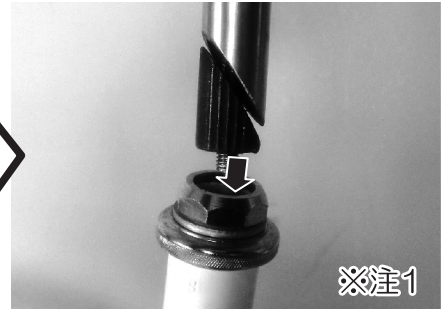


ハンドル側の保護キャップを取り外します。\*

※ハンドル側の保護キャップが抜けない場合は上側のボルトを六角レンチで左回しに回してください。




本体側に保護材がついている場合は取り外します。



本体に差し込み、角度を調節します。

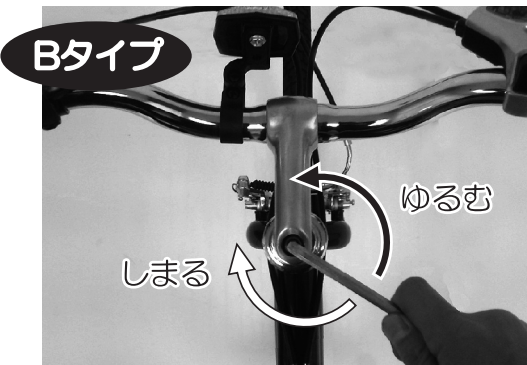
※注1



**Aタイプ**

ゆるむ  
しまる

固定用レバーを時計回りに回してください。

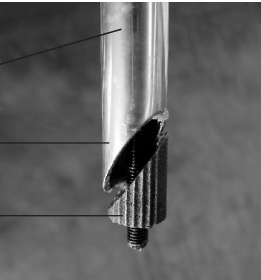


**Bタイプ**

ゆるむ  
しまる

六角レンチで時計回りに回してください。

**警告**

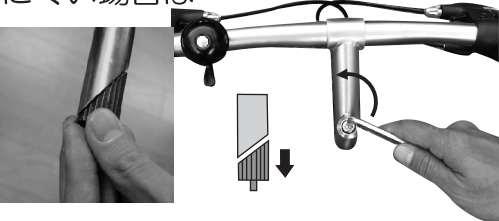


点線  
ハンドルポスト  
ハンドル固定ナット

ハンドルの高さを調節する場合、点線より下の位置で固定しないで下さい。  
ハンドルが不安定になり大変危険です。

**ハンドル取付Q&A**

本体にハンドルが差し込みにくい場合は・・・



ハンドル固定ナットを手で押さえながらセンターのボルトを反時計回りに回してハンドル固定ナットを少し下げて下さい。

※注1 ハンドル固定ナットがネジに通っているか確認して下さい。もしハンドル固定ナットが脱落していた場合は、ダンボール、またはハンドルポスト挿入口に落ちていないか調べてください。ハンドルポスト挿入口にナットがあったら、ハンドルポストからネジを抜いて挿入口に差し込み、ナットを取り出してください。



# ●ハンドルの固定・取り付け

各タイプにより下記のように組立ててください。

## 折畳ハンドルタイプ

★組立完了後、ハンドルが十分に固定されているか必ず御確認ください。固定が緩い場合はレバー反対側のナットで強さを調整できます。



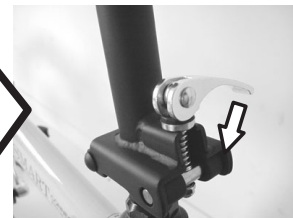
ハンドルを上引き上げます。



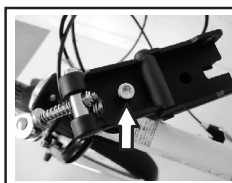
レバーを右に押しながら折畳部をはめ合わせます。



レバーを起こします。



レバーを下に倒して固定します。



- 折畳式ハンドルの機種はハンドル高さ調整はできません。
- ハンドルを起こしたときにタイヤとハンドルの角度がずれている場合は左図の矢印のボルトを緩めるとハンドルの左右の角度の調整ができます。

## クランプ取付タイプ

※ボルトは4本止めタイプと2本止めタイプがあります。



クランプボルト4本を緩めてクランプを外します。



ハンドルを取り付け、4本のボルトを図の順番で仮止めします。

注:必ず垂直にボルトを差し込んでください。斜めに取り付けるとネジ山を破損する場合があります。



クランプとハンドルステムの隙間が上下均等になるように固定します。

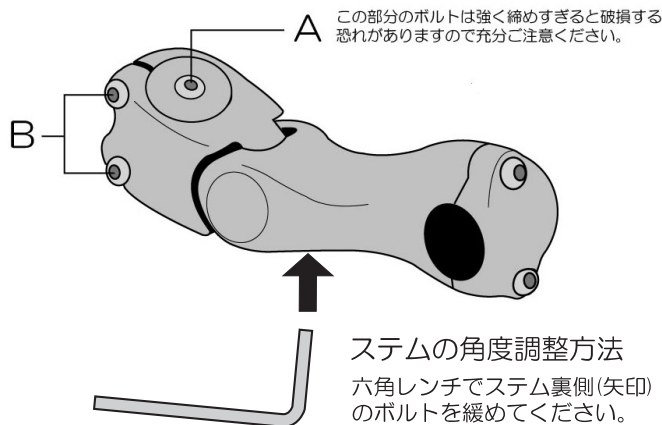
クランプでハンドルバーを固定するタイプの自転車は前輪の向きが正しくなっているかご確認ください。

### ⚠ 注意

ハンドルバーを取り付ける前にブレーキとハンドルステムが前の方に向いているかチェックしてください。



自転車のハンドル組立後、前輪にガタつきがある場合は A、B の部分を六角レンチで少し増し締めしてください。



A この部分のボルトは強く締めすぎると破損する恐れがありますので充分ご注意ください。

ステムの角度調整方法  
六角レンチでステム裏側(矢印)のボルトを緩めてください。



## ● ディレイラーガード取付方法

ディレイラーガード付属の自転車は下記のように組立ててください。

※車種によっては始めから付いている自転車もございます。



取付部品を確認します。



リアの変速機をガードするようにフレームに取り付けます。



2本のボルトをドライバーで締めて固定します。

※ディレイラーガード取付ネジが固い場合はレンチまたはソケットレンチ等をご用意ください。



## ● BMXタイプの組立方法

BMXタイプの自転車は下記のように組立ててください。

### ハンドルの組立方法



六角レンチでクランプのネジ4本を軽く緩めます。



ハンドルバーを起こして、位置をあわせてネジ4本を締めます。



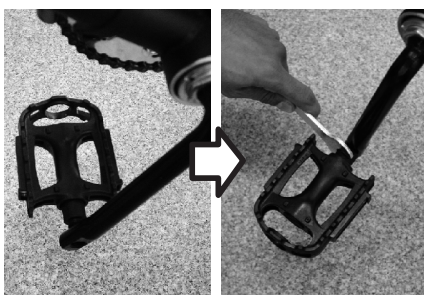
スパナでステム上部のネジを緩め、ハンドルの位置を調整して再びネジを確実に締めます。

### シートの調整



六角レンチでシートクランプのネジを軽く緩めてサドルの高さを調整し、ネジを締めます。

### ペダルの取付



ペダルはクランクの内側に取付けてあります。1度取り外して外側にしっかり取り付けます。  
(注：Rは右ペダル、Lは左ペダル)

### ペグの取付



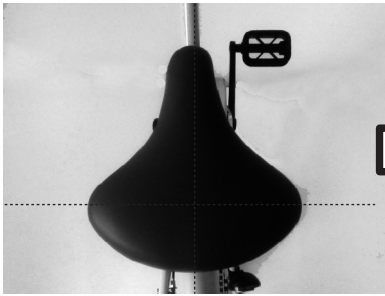
ペグはハブボルトに手で回しながら取り付け、ペグの穴にアレキキー差し込んで締めます。



## ●サドルの調整と固定

(注：開封時、シートにダンボールがついているものは、カッター等を使って開封しないでください。シートにキズをつける原因になります。)

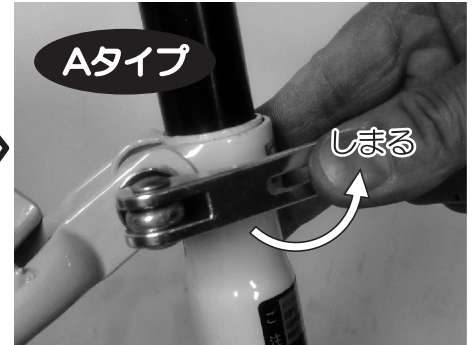
下記の手順に従ってサドルを調整してください。



フレームと平行になるように角度を合わせます。



高さを調整します。カカトが少し浮くぐらいの高さに合わせてください。



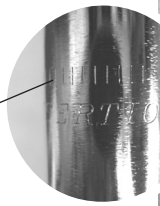
Aタイプ

しめる

クイックレバーを内側に倒してシートポストを固定します。

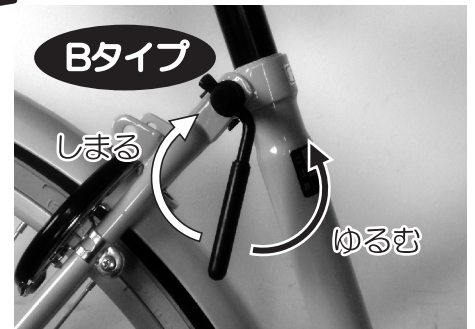
### 警告

限界標識



シートポスト

シートポストの限界標識が隠れる高さで固定してください。限界標識以上にあげすぎると破損の恐れがあり、大変危険です。



Bタイプ

しめる

ゆるむ

シートピンを時計回りに回してシートポストを固定します。シートピンは衣類に引っ掛けないよう内側に入れてください。

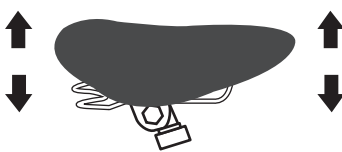
サドルの固定が緩い場合もしくは固い場合は・・・



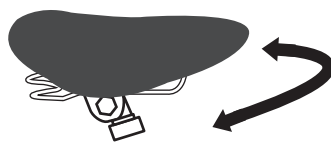
クイックレバーの反対側のナット、またはシートピンナットで固定の強さの調節ができます。

### サドルの固定確認

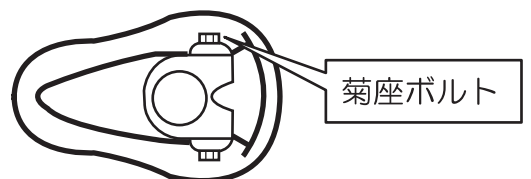
サドルを固定した状態で上下左右にぐらつきがないか確認してください。



上下のぐらつき



左右のぐらつき



菊座ボルト

上記でぐらつきが出る場合は再度サドルの固定をやりなおしてください。それでも上下のぐらつきがある場合はサドル裏面の菊座ボルトの緩みが考えられます。この場合は13mmまたは14mmのレンチを使用して菊座ボルトを締めなおしてください。



## ●ペダル取り付け

各タイプにより下記のように組立ててください。

### 固定式ペダル

左ペダル



右ペダル

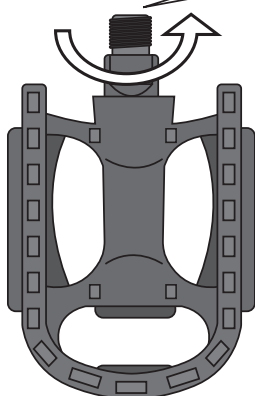
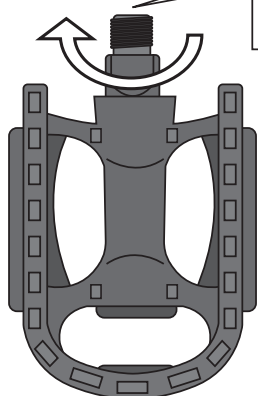


### 注意

ペダルは左右でねじ山の向きが違いますので左ペダル(L)は左回しに、右ペダル(R)は右回しに回して取り付けてください。

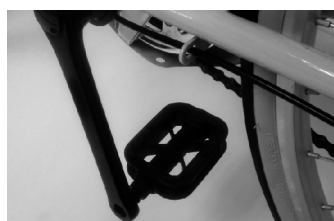
※最初に軽く廻して入らない時はネジ山がズれていますので再度最初からやり直してください。

(注：斜めに差し込むとネジ山を破損する場合があります。)



最初は必ず手で軽く2~3回廻した後にネジを最後まで入れて工具で強く締めてください。

開封時にペダルが内側に付いている場合は1度取り外して外側に付け替えてください。



### 注意

**ペダルはクランクに対して垂直に差し込んでください。**

斜めに差し込むとペダルが全部入らず、またクランクのネジ山を壊してしまう場合があります。

※クランクのネジ山破損の場合はクレーム対応致しかねますので予めご容赦願います。



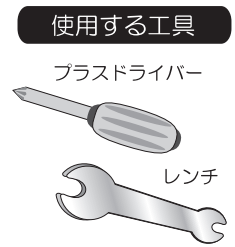
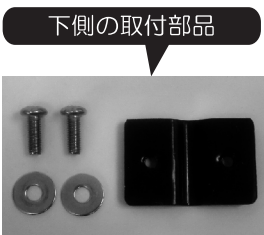
# ●カゴの取り付け シティサイクル等

下記の手順に従ってカゴを取り付けてください。

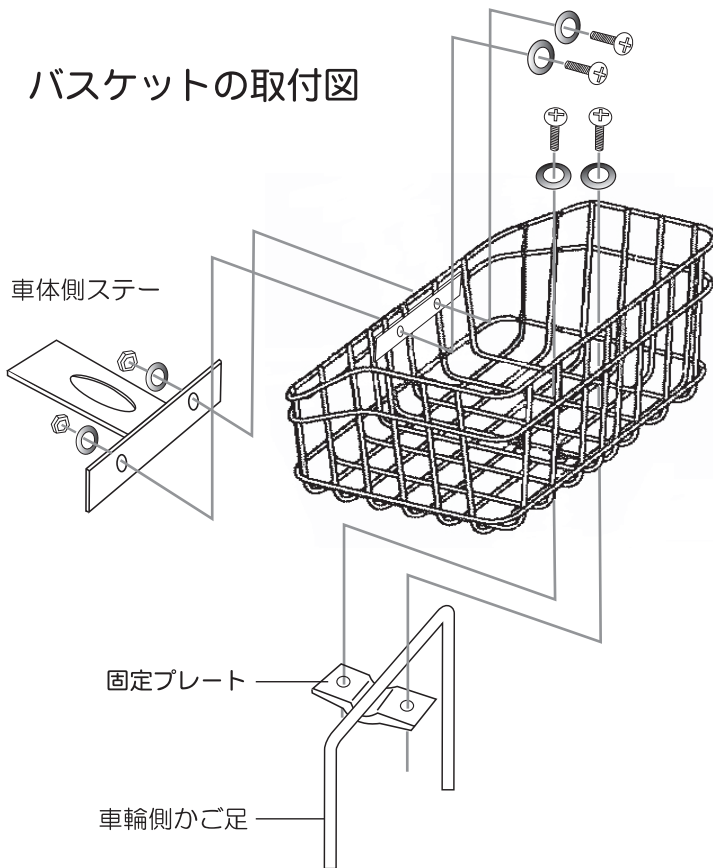
最大積載5kg

付属部品を確認します。

カゴはハンドル側と下側の二箇所  
取り付ける構造になっています。  
はじめに付属部品を確認してください。



## バスケットの取付図



上側(車体ステー側)をネジで仮止めします。

下側からかご足をプレートで挟んで、カゴの内側からネジで仮止めします。

取付が完了したら上側、下側共に仮止めしたネジを本締めしてください。



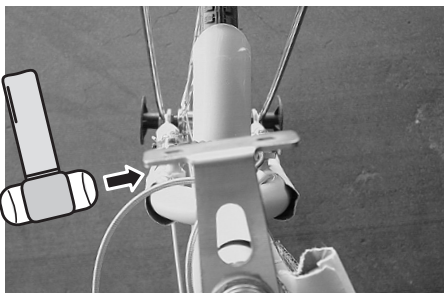
上側取付参考図



下側取付参考図

※ナットには緩み止め防止の樹脂が混入していますので  
固い場合はドライバーでボルトを抑え、スパナでナット  
の方を回してボルトがナットを突き抜けるようしっ  
かり固定してください。

### カゴ取付Q&A ① 上側ステーがズれている場合は・・・



ハンマー等で強く叩いて角度を調整してください。

### カゴ取付Q&A ② カゴの位置が合わない場合は・・・



ハブナットを緩めて、カゴ足の位置を調整してください。

※ハブナット用の工具(レンチ等)はお客様の方で用意ください。



# ●カゴの取り付け 折畳自転車等

下記の手順に従ってカゴを取り付けてください。

最大積載3kg

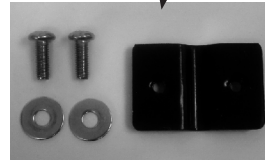
付属部品を確認します。

カゴは上側と下側の二箇所で行き付ける構造になっています。はじめに付属部品を確認してください。

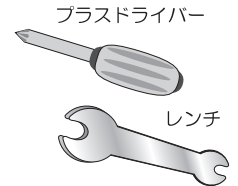
上側の取付部品



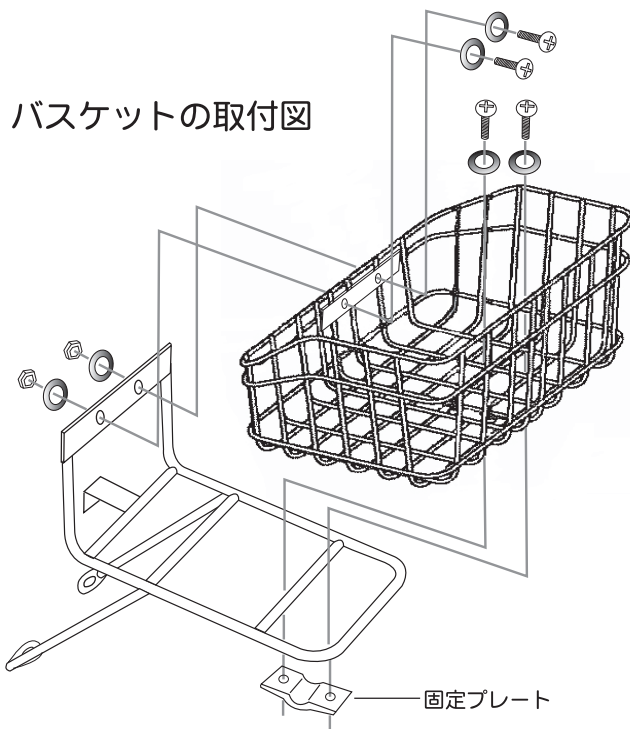
下側の取付部品



使用する工具



バスケットの取付図



上側をネジで仮止めします。

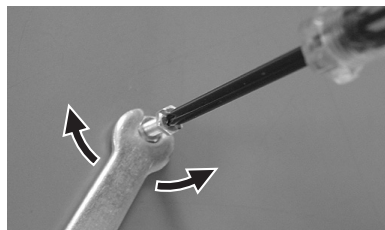
下側からステーをプレートで挟んでネジで仮止めします。

取付が完了したら上側、下側共に仮止めしたネジを本締めしてください。

※ナットには緩み止め防止の樹脂が混入していますので固い場合はドライバーでボルトを抑え、スパナでナットの方を回してボルトがナットを突き抜けるようしっかり固定してください。

## カゴ取付Q&A ③

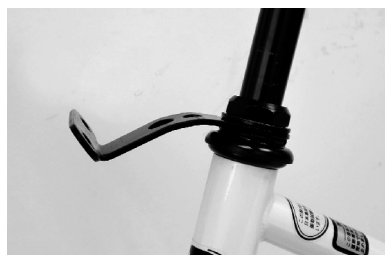
ナットが締まりにくい場合は・・・



ナットは緩み防止の為、ナイロンの樹脂を混入してある場合があります。取付が硬い場合はドライバーでボルトを抑えながらナットの方をレンチで回してながら取り付けてください。

## カゴ取付Q&A ④

ステーが変形している場合は・・・

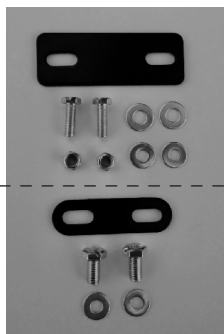


運送中の破損の可能性がありますので取扱運送会社またはマイプラスサービスセンターまでご連絡ください。



## ●カゴの取り付け 子供用サイクル

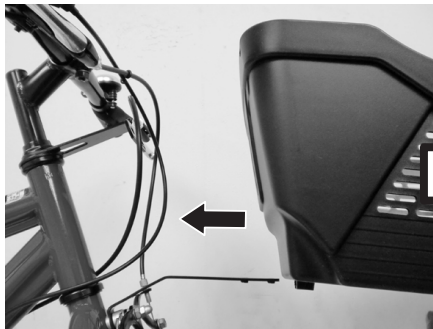
下記の手順に従ってカゴを取り付けてください。



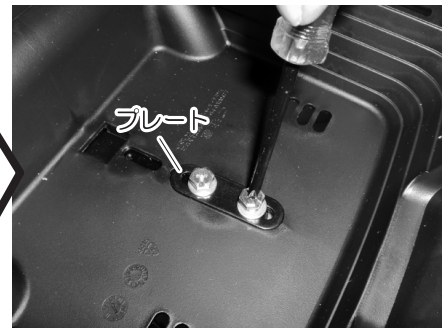
上側取付部品

下側取付部品

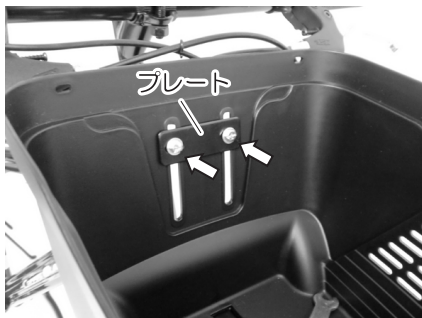
付属品を確認します。



カゴの下側をステーに差し込みます。



内側からプレートをあてて2本のボルトで固定します。



カゴ側面の内側からプレートをあてて2本のボルトを取り付けます。



カゴ外側からワッシャーとナットをつけてレンチでナットを抑えながら内側からドライバーを使って2本のボルトを固定します。



**注意**

カゴは樹脂製になりますので無理に取り付けると破損の原因になります。ちきんと位置を合わせてから取り付けてください。



## ●付属部品の取り付け オプション付自転車のみ

下記のように付属部品を取り付けてください。



LEDライトのハンドル取り付け参考図



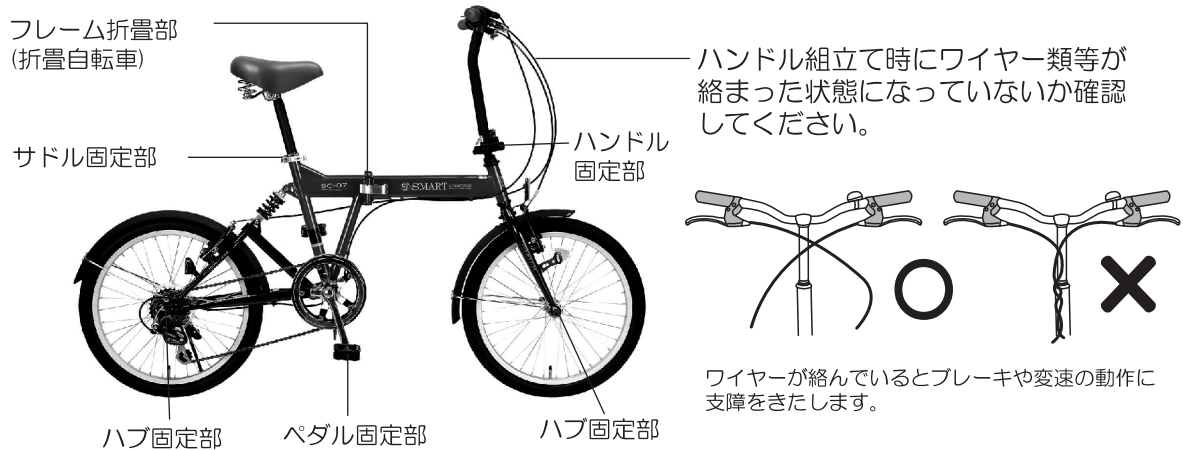
ホルダ付ワイヤーロックの取り付け参考図



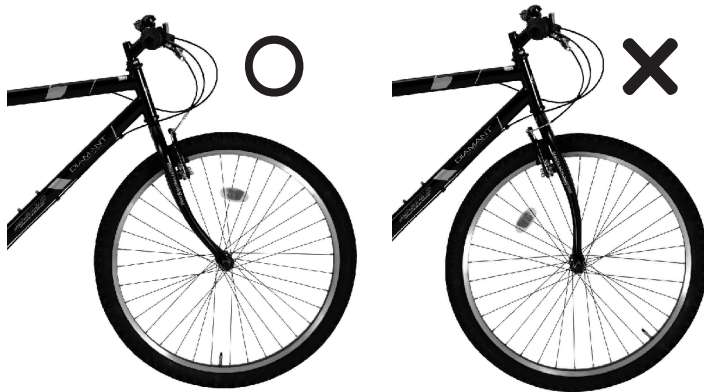
## ●各部の再確認

組立てが一通り終わりましたら必ず下記の部分を再確認してください。

- タイヤの空気圧が少ない場合は空気を入れてください。
- 各固定部がしっかり固定されているか再確認して下さい。



- タイヤの向きをご確認ください。(MTBタイプ、クロスバイクタイプ等)



### ⚠ 注意

梱包の関係で前輪の向きを逆にしている機種がございます。点検時はタイヤの向きを確認してください。

### ⚠ 警告

固定が不完全なために生じた事故・変形・破損・ケガについては一切責任を負いません。(保証規定参照)

使用後についても各部に異常がないか確認して下さい。万が一、異常が見られる場合は使用を止めて販売店にご連絡してください。

### ⊘ 禁止

本製品は都市用自転車として規格設計しており、競技用・オフロード用としては使用を禁じます。

### ❗ 強制

ご使用前は「点検チェックリスト」を確認し、定期的にチェックリストの点検項目にて点検調整を行ってください。



## ●こんなときは・・・

次のような症状が出た場合は各項目を点検して見てください。

症 状	チェック項目	参考P
変速がうまく切り替わらない。 ギアから異音がする。	ハンドル組立時にブレーキワイヤーや変速機ワイヤーが絡まった状態になっていないかご確認ください。	9
	変速機を調整してみてください。	13 14
ブレーキのききが悪い。異音。 ブレーキパットがリムに接触している。車輪の回転が重い。	ハンドル組立時にブレーキワイヤーや変速機ワイヤーが絡まった状態になっていないかご確認ください。	9
	ブレーキを調整してみてください。	11 12
ペダル付近から異音がする。	ペダル取付部を増し締めしてください。	7
ハンドルが固定できない。	ハンドル固定ナットがフレーム内部に落ちていないかご確認ください。	4-1
ペダルが取付られない。	左ペダルは逆ネジになりますのでネジ山の向きをご確認ください。	7
フレームジョイント部が固定できない。	固定レバーの反対にあるナットで調整をし締め付けの強さを調整してみてください。	3
カゴ取付ネジが硬い。	緩み防止の為、樹脂が混入してありますので初期段階では固い場合があります。	8
ライトがつかない。	ダイナモがタイヤに接触しているか、アースが取れているかご確認ください。	—
スタンドが硬い。	稼動部に潤滑剤を吹いてみてください。	—
<b>シティサイクル・タウンサイクル等</b> チェーンから異音がする。	チェーンケースの位置、チェーンの張りを調整してみてください。	—
開封時に黒いプラスチックの部品が割れている。	運送時破損防止の保護材ですので、本体にキズ等なければ破棄してください。	—
付属のキャップの取付場所がわからない。	ハブナットのキャップになりますので車輪軸のナットにつけてください。	—

その他マイパラスホームページでも掲載しております。 <http://www.ikesho-n.jp/mypallas/index.html>

## Vブレーキ調整方法

ブレーキの効きが良くない、リムとブレーキパッドが接触している、ブレーキをかけると音鳴りがするなどの場合はブレーキを調整してみてください。

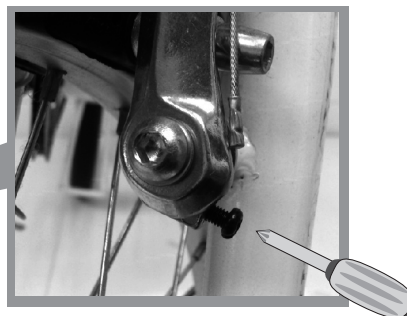


1. ブレーキレバーをカー杯握り、ブレーキインナーワイヤーの初期伸ばしを行います。
2. 初期伸ばし終了後、ブレーキレバーのあそびの確認をします。目安はグリップとブレーキレバーの幅が握った状態で1/3程度がベストです。

### クリアランスの微調整方法

ブレーキパッドが方効きの場合は①の調整ボルトを左右に回して調整してください。

右回し(時計回し)・・・  
リムとブレーキパッドの隙間が広がります。  
左回し(反時計回し)・・・  
リムとブレーキパッドの隙間が狭くなります。



3. ブレーキパッドとリムが接触している場合は②のネジを緩めてインナーワイヤーの固定位置を変えてください。

ブレーキパッドの両アーム部を左手人差し指と親指で軽くはさんでください。この状態で右手で付属の5mmアレンキー(L型レンチ)で②のネジを少し緩めます。(インナーワイヤーが動くのを確認してください。)その後、左手人差し指と親指を少し広げた状態で②のネジを強く締め付けてください。

微調整ボルトを回す場合はブレーキレバーを握った状態で行ってください。その後、ブレーキレバーを2、3回握って放して、リムとブレーキパッドの隙間を確認してください。

#### ※調整例

右のパッドがリムに接触している場合・・・  
先に左ブレーキアームのネジを反時計回しに回して左右の隙間のバランスをとり、右ブレーキアームのネジで調整します。

左のパッドがリムに接触している場合・・・  
先に右ブレーキアームのネジを反時計回しに回して左右の隙間のバランスをとり、左ブレーキアームのネジで調整します。



### 警告

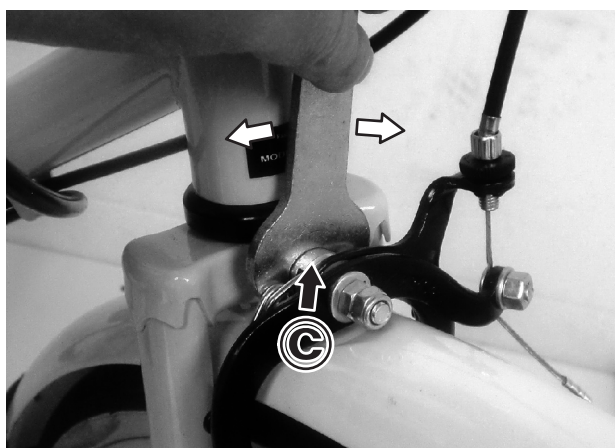
※上記調整はある程度の経験と知識が必要になりますので、自信がない場合は弊社又は自転車販売店等(有料)へご相談ください。

## キャリパーブレーキ調整方法

リムとブレーキパッドが接触している、もしくは片ぎきになっている場合は調整してみてください。



1. ブレーキレバーを強く握ってブレーキインナーワイヤーの初期伸ばしをします。ブレーキレバーの遊び幅が多い場合はAを回してインナーワイヤーたるみを調整してください。微調整で改善しない場合はBのナットを緩め、ワイヤーの固定位置を変えて、ワイヤーの張りを調整してください。



2. ブレーキが片ぎきの場合はキャリパー本体を固定している支点がズれていますのでCの部分にレンチをはめ、左右に動かしてブレーキパッドとリムの隙間が左右均等になるように調整してください。

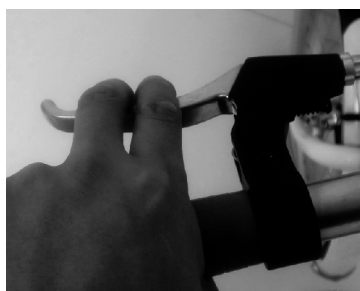


**警告**

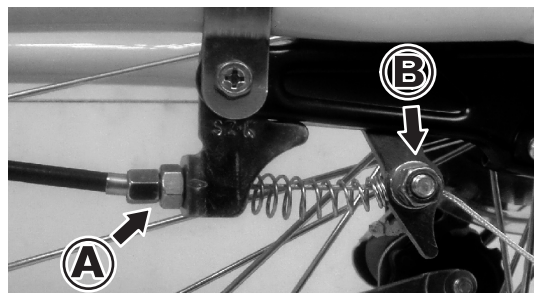
※上記調整はある程度の経験と知識が必要になりますので、自信がない場合は弊社又は自転車販売店等(有料)へご相談ください。

## バンドブレーキ調整方法

自転車の後輪の回転が重い場合は下記の箇所を調整してみてください。



左のブレーキレバーを3回ほど強く握ってワイヤーの初期伸ばしをします。



Aのナットを回してブレーキレバーの遊びが1/3になるようにします。後輪の回転が重い場合はBのナットを緩めてワイヤーの張りを調整します。



**警告**

※上記調整はある程度の経験と知識が必要になりますので、自信がない場合は弊社又は自転車販売店等(有料)へご相談ください。

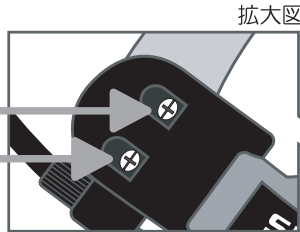
# 変速機の調整方法

変速がうまく切り替わらない、乗っているとガラガラと異音がする、チェーンが外れるなどの場合は変速機(ディレイラー)を調整してみてください。

## ③ トップアジャストボルト

ゆるめると6速ギアに入りやすくなります。

トップアジャストボルトは「H」  
ローアジャストボルトは「L」と  
記されています。



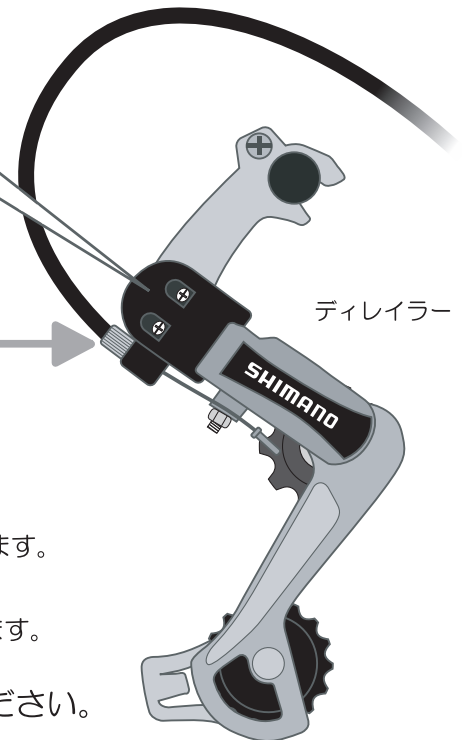
## ② ローアジャストボルト

ゆるめると1速ギアに入りやすくなります。

## ① アウター調整ボルト

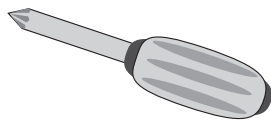
- 右回し(時計回し)  
6速ギア(最小ギア)に入りやすくなります。
- 左回し(反時計回し)  
1速ギア(最大ギア)に入りやすくなります。

①から②③の順番で調整してください。



### 使用する工具

プラスドライバー



### 変速機の調整(一例)

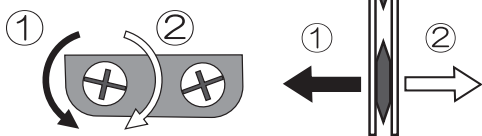
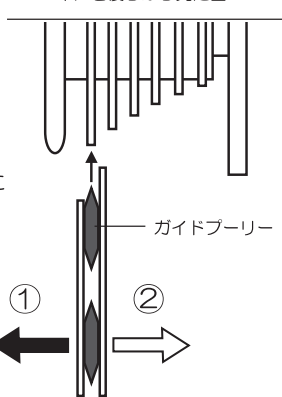
1. アウター調整ボルトで微調整
2. 6速にしてフリーの垂直をあわせる(トップアジャストボルトで調整)
3. 5速にして空回しをし、異音が無いか確認(異音がある場合はアウター調整ボルトで調整)
4. 1速にしてフリーの垂直をあわせる(ローアジャストボルトで調整)

### ■ ローギア側の調整

変速機を操作してディレイラーが1速ギア(最大ギア)に合わせます。

Lのネジをプラスドライバーで回して、ガイドプーリーの中心とローギアの中心が一直線に並ぶように調整してください。

ギアを後ろから見た図

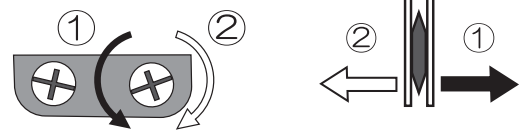
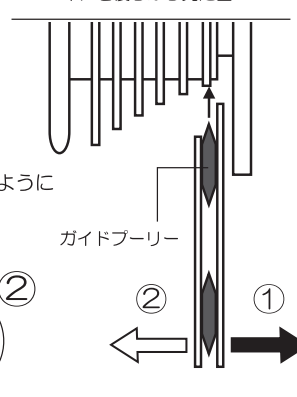


### ■ トップギア側の調整

変速機を操作してディレイラーが6速ギア(最小ギア)に合わせます。

Hのネジをプラスドライバーで回して、ガイドプーリーの中心とトップギアの外側が一直線に並ぶように調整してください。

ギアを後ろから見た図



※①の調整で直らない場合は下記のように調整してください。また1/4回転程、少しずつ回して調整してください。

調整方法	大きいギアに入りにくい(2速→1速、3速→2速など)	▶▶▶▶	ローアジャストボルトを反時計回しに回す
	小さいギアに入りにくい(5速→6速、4速→3速など)	▶▶▶▶	トップアジャストボルトを反時計回しに回す
	ギアの外側(トップ側)にチェーンが落ちる、外れる	▶▶▶▶	トップアジャストボルトを時計回しに回す
	ギアの内側(ロー側)にチェーンが落ちる、外れる	▶▶▶▶	ローアジャストボルトを時計回しに回す
	各ギアでガラガラと音鳴りがする	▶▶▶▶	アウター調整ボルトを右または左に回す

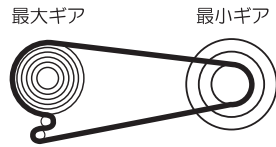
※調整ネジで調整しきれない場合はディレイラーをトップギアにして調整ボルトを締め込み、再度変速ワイヤーの張り直しをしてください。変速機の調整は経験に左右される事が多いので何度かやってみるのが良いです。

# 変速機の調整方法〔フロント〕

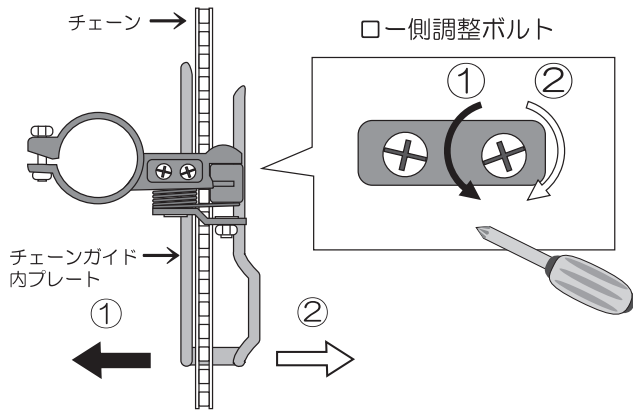
※1  
FD-TY22の例

変速がうまく切り替わらない、チェーンが外れるなどの場合は変速機を調整してみてください。

## ロー側の調整

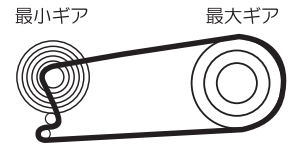


シフティングレバーを操作してチェーンの位置をフロント最小ギア、リア最大ギアに合わせてください。

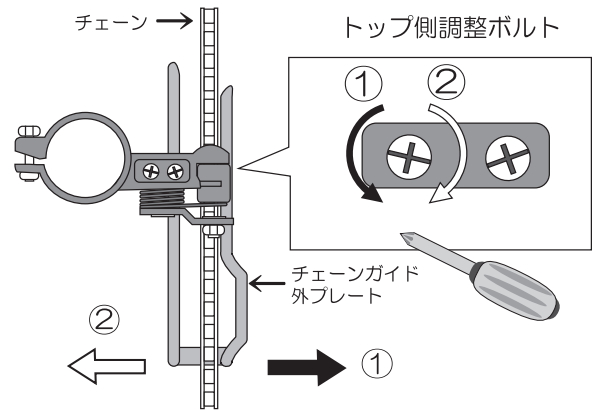


チェーンガイド内プレートとチェーンの隙間を0~0.5mmにセットしてください。

## トップ側の調整



シフティングレバーを操作してチェーンの位置をフロント最大ギア、リア最小ギアに合わせてください。



チェーンガイド外プレートとチェーンの隙間を0~0.5mmにセットしてください。

調整が終わりましたら正常に変速するか確認をしてください。もしうまく変速しないときは下記の要領で調整してみてください。使用しているうちに変速しにくくなった場合も同様です。

調整方法	クランク側(外側)へチェーンが落ちてしまうとき	トップ側調整ボルトを時計方向に1/4回転ほど締める
	中間ギアから大ギアに変速しにくいとき	トップ側調整ボルトを反時計方向に1/8回転ほどもどす
	中間ギアから小ギアに変速しにくいとき	ロー側調整ボルトを反時計方向に1/4回転ほどもどす
	チェーンがフロントチェーンホイールの最大ギアの位置でフロントディレイラーのインナープレートとチェーンが干渉するとき	トップ側調整ボルトを時計方向に1/8回転ほど締める
	チェーンがフロントチェーンホイールの最大ギアの位置でフロントディレイラーのアウトプレートとチェーンが干渉するとき	トップ側調整ボルトを時計方向に1/4回転ほど締める
	大ギアから変速して中間ギアを飛び越えてしまうとき	トップ側調整ボルトを反時計方向に1/8回転ほどもどす
	中間ギア位置でリアを最大ギアにした場合、チェーンがフロントディレイラーインナープレートと干渉する場合	アウターアジャストボルトを反時計方向に1~2回転もどす
	最大ギアから中間ギアに変速しにくいとき	アウターアジャストボルトを時計方向に1~2回転締める
ボトムブラケット側へチェーンが落ちてしまうとき	ロー側調整ボルトを時計方向に1/2回転ほど締める	

※通常ご使用する場合はフロントギアとリアギアでチェーンをクロス(フロントがトップギアでリアがローギアなど)させて乗ると部品の消耗が激しくなります。

※1 ディレイラーの型式によって調整ボルトの調整方法が異なる場合があります。